

平成 30 年度 第 1 回超電導応用研究会シンポジウム

現在、次世代エネルギーの実現を目指して核融合炉の研究開発が進められており、フランスでは国際熱融合実験炉 ITER が建設中です。日本では、原型炉建設へ向けて ITER 計画と合わせて幅広いアプローチ活動に参加しています。大型のトカマク型核融合炉には超伝導コイルが不可欠であるため、これまでに大型超伝導コイルの開発や冷却技術の開発などが行われてきました。本シンポジウムでは、幅広いアプローチ活動の一環として ITER の支援や原型炉に向けた補完研究を目的として建設中の JT-60SA に関する講演と ITER 超伝導コイルに関する講演を企画いたしました。また、シンポジウムの後半では、那珂核融合研究所で建設中の JT-60SA と ITER 超伝導導体の試験設備(CS モデルコイル)に関する見学会を予定しております。超伝導コイル研究開発者は元より、冷却やシステム開発など幅広い分野の方々との議論や意見交換が行えることを期待し、多くの方々の御参加をお待ちしています。

テーマ：JT-60SA の建設状況と ITER 超伝導コイルの開発

日時：平成 30 年 8 月 10 日(金) 13:00～16:30

場所：量子科学技術研究開発機構 那珂融合研究所 管理棟 2F 第 3 会議室

〒311-0193 茨城県那珂市向山 801-1

交通案内：<http://www.fusion.qst.go.jp/naka/introduction1/access.html>

JR 常磐線 上野駅～東海駅 約 90 分 特急ひたち 9 号・いわき行 東海駅 12:18 着

マイクロバス (東海駅⇄那珂研) 東海駅西口(12:30 発)→那珂研

那珂研(研究会終了次第)→東海駅西口

タクシー利用：東海駅西口→那珂研(約 4 km) 約 10 分

車：車での来所も可

*入構の際は守衛所にお立ち寄りの上、氏名をお伝えください。

プログラム

- | | | |
|-----------------------|-------------------------|-------------|
| 1. 開会の挨拶 | 超電導応用研究会委員長 | 13:00～13:05 |
| 2. JT-60SA の概要と建設状況 | 木津 要 (量研機構) | 13:05～13:30 |
| 3. JT-60SA 超伝導コイルの開発 | 村上 陽之 (量研機構) | 13:30～13:50 |
| 4. JT-60SA ヘリウム冷凍機 | 神谷 宏次 (量研機構) | 13:50～14:10 |
| 5. ITER の TF コイル開発 | 梶谷 秀樹 (量研機構) | 14:10～14:30 |
| 6. CSMC とインサート試験 | 諏訪 友音 (量研機構) | 14:30～14:50 |
| | 休憩 14:50～15:00 | |
| 7. JT-60SA 試験装置の見学 | (JT-60SA 本体、ヘリウム冷凍機、電源) | 15:00～16:00 |
| 8. ITER 超伝導導体用試験設備の見学 | (CS モデルコイル) | 16:00～16:20 |
| 9. 閉会の挨拶 | 超電導応用研究会委員長 | 16:20～16:25 |

資料代:2,000 円

オーガナイザー:諏訪 友音(量研機構)、平野 直樹(中部電力)

申込方法:「第 1 回超電導応用研究会シンポジウム申込」と件名に記載し、氏名、所属、

連絡先(電話番号、電子メール)をご記入の上、平成 30 年 8 月 3 日(金)までに下記へお申込みください。

量子科学技術研究開発機構 諏訪 友音 E-Mail: suwa.tomone@qst.go.jp